

市内小中学校のすべての普通教室に エアコン設置へ…補正予算追加提案

上越市は市内すべての小中学校の普通教室、高田幼稚園のすべての保育室にエアコンを設置することを決め、14日の市議会本会議に関連予算を含んだ一般会計補正予算を提案しました。

工事を完了させたい意向です。今回の提案は、今年の夏、猛暑が続くなかで、エアコン設置を急げとの声が全国から巻き起こり、政府や市を動かしたことによるものです。市は今月4日付けで国の補正予算による臨時特例交付金の内示を受けていました。

学校の適正配置などをめぐり論戦

私が所属する総務常任委員会の議案審査が10日、行われました。議案は指定管理者の指定、一般会計補正予算、そして人事院勧告に基づく条例改正、総合計画後期基本計画などでした。

このうち、指定管理者の選定方法をめぐり、「市民目線で選定の中身がもっとよく見えるように」と改善を求めました。

また、市職員の寒冷地手当廃止を含む議案に関しては、市職労と合意したうえでの提案ということで賛成はしましたが、寒冷地手当が出る国家公務員や県公務員との矛盾を指摘し、国に改善を求めるよう訴えました。

総合計画後期基本計画については、学校の適正配置、定員適正化を進める上での留意事項などで質問しました。

計画では、「学校の適正配置・整備」のなかで、平成34年度までに、複式学級が存在または見込まれる小・中学校のある地域において、適正配置に向けた取組または議論が始まって小・中学校数」の目標を3として

います。私は、「関係地域住民の声を十分聴いてどうするかを決めることが大事。ゴリ押しすべきでない」と発言、これに対して大山企画政策課長は、「(適正配置の)議論が行われている」ということであり、統廃合を無理やり押し進めるものではないということについて教育委員会とは確認が取れている」と答えました。

ついて、上越市心身障害者福祉団体連合会の皆さんが議会への陳情で最初にとりあげたのが高田公園の公衆トイレだ。上越の観光の顔、シンボルである高田公園においてトイレのバリアフリー化が十分されていないということだった。どういう状況になっっているかと質問しました。

高田公園公衆トイレ、障害者が使いやすくせよ

7日の農政建設常任委員会において私は、高田公園の公衆トイレに



【シバザクラ】ハナシロブ科の多年草。漢字で「芝桜」と書きます。4～5月に赤、白などの花を咲かせます。写真は12月3日、吉川区にて撮影。暖冬の影響でしょうか、いまも咲いています。白い芝桜の花言葉は、「燃える恋」。



アケビ科の「ムベ」をMさん、Tさんからいただき、初めて食べてみました。アケビより少し甘味があって、タネはアケビよりも大きめでした。

これに対して、都市整備部の波塚参事は、「整備計画に基づき、トイレについてもできることからからやっしていきたい」と答えました。ピッチを上げてほしいですね。



吉川中学校図書室に設置されているエアコン。写真は市役所提供。

はしづめ法一の
活動レポート

No.1888 2018.12.16
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/

ブログ「ホーセの見たある記」はこちら
橋爪法一 検索

春よ来い

第五三六回 最新型ももひき

少し前まで、私の冬の自慢は「寒さなんかへっちゃら、ズボン下ははかないでいい」ということでした。それが数年前からズボン下なしでいられなくなりまして。

きっかけは風邪をひいたときだったと記憶しています。体に震えが来て、足も寒い。そこで、夏場、ズボンがべたべたしないようにとはいていたステテコを出してきました。丈は短かったものの、けっこう暖かでした。それで何日もはき、離せなくなりました。

これまで持っていたズボン下は黒いものと白いものですが、白いズボン下よりも黒の方が気に入っています。色のついたものの方が失敗しても汚れが目立たないし、何よりも体に合う感じがするからです。

というわけで、先日は黒いズボン下の着替用のものが欲しくなり、あるお店の男性用衣料品売り場に入りました。入ってすぐ右のところに、私が探しているものが下がっていました。値段はいずれも一二九〇円十税。色は黒、灰色、少し青が入ったものなど数種です。

私が選んだものは濃い青色に薄い青のチェック模様のズボン下です。他人に見てもらった場面はまったくありませんが、いま持っている黒と同じでは区別が難しくなるのではと、別の色にしたかったのです。

ただ問題は、自分をはける大きさのものがあるかどうかでした。私のウエスト（腰回り）は「九四〜一〇四」の範囲です。で、体型に合うものは2Lサイズ（ツーエルサイズ）ということになります。幸い、青色のチェック模様の2Lサイズは一枚だけ残っていました。

この日は夜の会議が九時過ぎまであり、家に戻ったのは一〇時少し前でした。購入してきたズボン下を袋から出して、電気の

灯りの下で見ますと、けっこうおしゃべりな感じがします。すぐに、はいてみたくくなりました。

このズボン下をはいて、鏡の前に立ってみたら、不思議なことに、私の足がきりりとしまっていて、細く感じました。「こりゃ、いいわ。オシの足が細く見える」と家族のものに言ったところ、「ほんとだね、でも、その上の腹がね……」と言われちゃいました。こういうときは上半身を見せないことが大事ですね。

笑ってしまったのは、値段などが書かれた紙の宣伝文句を見たときです。「ロング丈タイツ」と書かれた、その下に赤い帯のようなものがあり、そこに白字で「ムシにくく 暖かい」とあります。裏面には、「ムシにくい」「薄いのに暖かい」「着ぶくれしない すっきりシルエット」とも書いてありました。

いずれも短い言葉でありながら、商品をしつかり宣伝しているのですが、読んだ人間をくすぶります。そのうえ、最近目があやしくなってきた私は、「着ぶくれしない すっきりシルエット」を「すっきり ダイエット」と読んでいました。

さて、肝腎のはきごちです。最初は試着のつもりでしたが、そのまま翌々日まではきました。暖かいし、何よりも腰からくるぶしあたりまでピタッとくる感覚がいい。さらに、ちょっぴり細くなった雰囲気もあるのです。私にとっては、やはり「着ぶくれしない すっきり ダイエット」でした。

子どもの頃、ラクダの「ももひき」を買ってもらい、温まりました。これはいまもあるのでしょうか。どうあれ、今年の冬は、「すっきり ダイエット」の最新型ももひきで冬を乗り切りたいと思います。

【信越県境地域づくり交流会】

博物館や美術館、水族館などはたまに行き行って展示物を見るところと思っていたら大間違い。そこには地域の宝物が、場合によっては世界の宝物がある。私たちの身近にあって、地域づくりにつながっていく。いま、私たちが未来のために何をなすべきかも見えてくる。それがミュージアムの7日の信越県境地域づくり交流会に参加して学んできました。4つの博物館、水族館代表などによるトークセッション（討論集会）が特に面白かったですね。

このうち、野尻湖ナウマンゾウ博物館長の近藤洋一さんは、長年におたり野尻湖発掘を続けた人ですが、「ナウマン象は日本で重要な化石の掘っていけば4万年、5万年の歴史がおかる。どんな場所にも歴史の痕跡があって、足元に重要な学ぶべきものがある」と言われました。ちなみに野尻湖の発掘で化石発見第1号はナウマンゾウの大腿骨で、発見者は上越市の中学生だった（当時）ということでした。



【新しい平和橋、18日開通】

吉川区の市道下町小苗代線の平和橋（へいわばし）の架け替え工事が終わり、18日、開通式が行われます。

この橋は名前の良さもあって、牧区の「平等橋」（へいとうばし）などと同じように、橋の愛好者に注目されています。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月5日(水)	12月12日(水)
上越南消防署	0.057	0.047
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.057	0.050
頸北消防署	0.050	0.040
頸南消防署	0.050	0.063
東頸消防署	0.050	0.040
高士分遣所	0.060	0.050
名立分遣所	0.053	0.057